

# “吹上げ糸”をつくろう

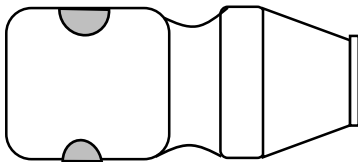
青森・野呂茂樹

\*\*\*\*\*

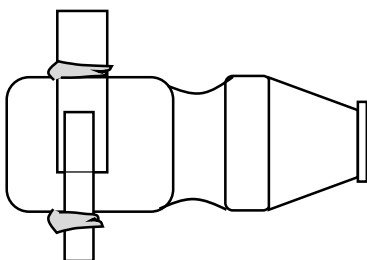
医療機器にも使われている懐かしのおもちゃです。科学イベントでは、ストローでつくる方法が紹介されていることがありますが、ここでは、乳酸菌飲料容器を使ったつくりを紹介します。

## 【つくり】

- ① 容器の側面の向かい合った2か所にキリ／千枚通しなどで、ゆっくりと小さな穴（ハサミの先が入る大きさ）をあけます。
- ② 先の尖ったハサミで、穴の大きさ／形を、一つの穴は6mmφのストローが、もう一つの穴は4mmφのストローが、いずれもストローがぎりぎり通る大きさにカットします（完全な円でなくても、角ばったり、ギザギザしていても大丈夫です）。



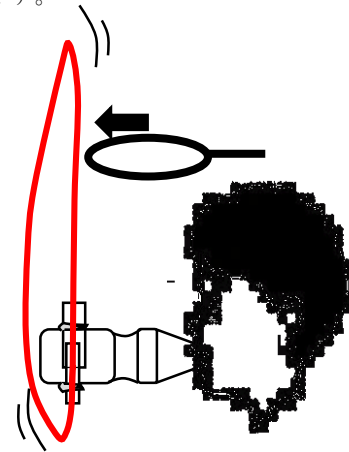
- ③ いずれも長さ約4cmの6mmφと4mmφのストローを用意します。
- ④ それぞれを穴に差し、太いストロー内に細いストローの一部が入るようにします。
- ⑤ それぞれのストローが通っている穴の周りをセロファンテープで空気漏れがないように塞ぎます（ストロー側面と容器面にセロファンテープで貼りつけます。ホットボンドができればよりよいです）。



- ⑥ 長さ60～80cmのしつけ糸/ミシン糸/極細毛糸をストローに通し、両端を結びます（結び目が小さくなるようにしてください。余分な糸は切り落とします。木工ボンドで接着してもいいです）。

## 【遊び方】

- ① 容器の飲み口に口を当て強く吹くと、糸がスルスルと吹き出て、回転します。
- ② 吹き出ている糸に円環（リング）を水平に押し当てると、一瞬にして糸が円環の中に入り、マジックのようです。



## 【参考文献】

・野呂茂樹～通り抜ける輪～「先生はマジシャン1」  
(連合出版)

\*ここでのつくりは、八戸市・科学であそび隊川本菜穂子さんのペットボトルを用いた作品(下記写真)を真似ました。

